京城日報

THE KEIJO NIPPO

第二千七百二十三號（一）　（明治三十九年八月十日第三種郵便物認可）　大正七年十二月一日　（年中無休刊）

三十一日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

第四十回帝國議會（東京特電）

衆議院（三十日）

（朝刊より續く）

▲秘密會　秘密會にては西村丹治郎（國民）高木益太郎（國民）古谷久綱（政友）中村啓次郎（政友）澤來太郎（政友）山口常太郎（政友）氏等の質問に對し加藤海相詳細に國防計畫の根本に就て説明する所あり秘密會の儘休憩午後二時再開し猶ほ秘密會を續行す（鶴槻記者）

滿洲里人心恟々
露西亞兵の來襲を怖れて

ダオルに在る七千の露西亞兵は元哈爾賓過激派首領リウチンに接近しつゝあるより滿洲里は其の來襲を怖れ人心恟々たり又此の地の日本在留民二百七十名は財産を始末し何時にても引き揚ぐべく準備し居れり（長春特電）

露對羅外交斷絶

過激派政府は羅馬尼との外交關係斷絶せる旨宣明せり（露都電報）

極東自治會設立

ハバロフスクに於て極東中央自治會設立されキスラル氏は軍事執政官に選ばる之れ極東獨立の具體的準備なりとの説あり（長春特電）

二市過激派跋扈

ニコリスクは歩兵の根據地にて聯隊の所在地なるも兵士は上官の命令に從はず不穩の行動あり又其の地の騎兵も過激派に加擔し諸長は交迭して多數の過激派當選し斯くてニコリスク市の軍隊市參事會は全然過激派の手に歸したり（哈爾賓電報）

獨宰相の平和觀
結局効果を齎すべきを期待す

露國平和委員は無線電信を以て獨墺政府が其新聞に平和會議の眞相を掲げしめざるは輿論を誤るものなりと罵り又獨宰相は二十四日議會の委員會に於て露國との平和協商は困難にして進捗せず露國委員の熱誠は疑はしきも遂に効果を齎らすべきを期待する旨述べたり（倫敦電報）

米出征準備成る

米國陸軍卿は米軍の歐洲戰場出征準備全く成れりと言明せり（紐育電報）

濠洲對日本禁輸

濠洲政府は今回日本に對する一般貨物の輸出を禁止せる旨三十日當地に入電ありたり（大阪特電）

浦鹽領事館招宴

二十四日浦鹽斯徳日本總領事館にて招待宴を催したるが參會者は露國司令官を除く外露國文武官等七十餘名及び在留外人邦人等にて日本海軍將校を主賓とし盛會を極めたり尚一般露國有識階級は我艦隊の浦鹽碇泊を歡迎し居れり（浦鹽電報）

仲買人戒告

東京の仲買人數名相場吊上げの證據明瞭となりたるより不日戒告さる可し（東京電報）

兩宮御禮傳奏

李王世子殿下東京御安著に就き天皇陛下より御酒並に交魚御下賜ありたるを以て李王李太王兩殿下より長谷川總督へ御禮奏上方申出でられ總督は三十一日午前十時波多野宮内大臣宛右執奏を請ふ旨電報を發せり

府令二件發布

地方費賦課金徵收規則中改正の件は二月一日總督府令を以て發布四月一日より之を施行さるべし次に地方法院出張所の名稱位置及び事務取扱區域表中改正の件は二月一日總督府令を以て發布即日施行さるべきが右改正の理由は既報の如く大正七年二月十日より江原道外五道管内の各一部に朝鮮不動産登記令を施行せらるべきに付き是等所轄の地方法院支廳及び各郡廳所在地に地方法院出張所を新設し公認事務と併せて其事務を取扱はしめんとするものなり

裁判所員定增加

朝鮮總督府裁判所及び檢事局定員表中改正の件二月一日訓令を以て發布さるべきが右は別項所報の如く大正七年二月十日より江原道外五道管内に於て朝鮮不動産登記令の施行に伴ひ江原道淮陽郡外十一個所に地方法院出張所新設の爲め裁判所定員の增加を要し即ち定員表に改正を加へらるゝものなり

馬屬防疫府令

二月一日官報を以て炭疽、鼻疽、皮疽豫防に關する府令を發布即日施行さるゝ筈なるが右は從來の獸疫豫防令中炭疽、鼻疽、皮疽に關する規定は馬屬中馬にのみ之に加へありしも騾、驢に對しても之が適用の必要を認めたるに依るものなりと尚府令發布と同時に訓令を以て當分の内平安北道對岸地方より輸入する馬、騾、驢に對し義州、新義州、昌城、碧潼、楚山、高山鎭及び中江鎭に於て檢疫を行ふべき旨發布さるべし

東拓鑛業金融

東拓京城支店にて本年鑛業方面より多額の貸附申込を受け居れるに付其の鑑定調査等のため内地にて適當人物物色中なる事は既報せしが右は東京にて高瀬理事の銓衡を經て鮮人選決定遠からず來鮮[illegible]なるが目下申込みを受け居る物は數種に亙り右一名のみにては不足するに付其の補充は朝鮮事業中の相當人物に委託する事となれる由

鮮銀新株拂込

鮮銀行にては昨年三月公募並に割當てし新株十萬株の第三回拂込み二百五十萬圓の收納を三十日より行ひつゝあるが其の大部分は京阪地方にあり朝鮮に住む者の所有は約二千餘株に過ぎず從つて[illegible]以内なりと其の[illegible]拂込みにより[illegible]

滿洲と金本位資金
奉天支那有力者於招待會席上
美濃部鮮銀總裁の演説

鮮銀總裁美濃部俊吉氏は一月三十日奉天に於ける支那側官民有力者多數を招待せしが其の席上に於て演説せる要旨左の如し

當行が先年貴國滿洲に支店を設置して以來僅に四星霜之を在滿他銀行に比するときは其の閲歴未だ新なるを免れずと雖幸にして貴國官民の同情と援助とを得て業務年と共に進み最近に至ては貴國紳商は勿論各銀行及諸官憲とも淺からざる取引關係を生ずるに至りたるは全く貴國官民各位の當行に對する同情の然らしむる所にして當行の深く感謝する所なり

當行は舊臘政府の命に基き從來横濱正金銀行が滿洲にて發行せる金券を繼承し今後滿洲に流通すべき我金券は當行發行の金券を以て統一せらるゝこととなり又本年初より同じく横濱正金銀行の取扱來れる我國の滿洲に於ける國庫事務の移管を承け同時に同行の鐵嶺、遼陽、新民府、安東の四支店を繼承したり其の結果として當行の滿洲に於ける金融上の任務は從來に比し一段の重きを加へたるを以て當行は今後益貴我金融上の連絡を密にし以て滿洲の經濟發展に資する所あらんことを期し各位亦當行に對し一層の援助を與へられんことを切望して已まざるなり

尚ほ從來貴我の取引上遺憾なりしことは其の**貨幣制度の相違**なり即貴國は銀を本位とし我國は金を以て本位とす當行も其國の制に從て金を本位とする貴我取引上往々にして連絡を缺き遲滯を生じたることありしも一定の時に於ては貴我兩貨幣に依て相互換算す[illegible]貴國紳商の金取引も漸増加の傾あるを以て今後は當行の道開け貴國の金融上に貢献すべき機會多きを見るべく是れ[illegible]に堪へざる所なり[illegible]

從て之を地方的に觀察する時は他の單獨に金本位制を實施するも必ずしも困難ならざる地方あるは之を察するに難からず**滿洲の如きは即ち其の一なるべし**、蓋し滿洲の地は西境を除くの外悉く金本位國に接觸し夙に金本位諸國との經濟關係密接なるものあり殊に先年鐵道の完成に依り滿洲は世界の公道となり又歐洲戰局以來其の特産物は世界的商品となり世界文明國共通の通貨たる金本位の通貨は滿洲貴國人間に於て漸く流通を見るに至り金建を以て各種の取引を營むことも漸次普及の位の當に目擊しつゝあるは各位の示しつゝある所なるべし是れ滿洲が金本位の幣制を布くの資力あることを明示するものにあらずして何ぞや、されば若し各位の援助に依り自今銀貨幣と相併んで金本位通貨を流通せしむることを得るに至らば兩國の利益計るべからざるものあらんとす當行か銀貨國の貴國に於て多年幾多の不利不便を忍んで金資金のみの供給に當る所以のものも徹意は前述ぶるが如き信念に依り聊かたりとも貴國財界に貢献せんことを思ふ所なり

又余は常に思ふ滿洲の開發は農業を根本として更に加ふるに工業を興すを以て急務とすと近世に於ける國家の隆盛か何れも其の國の工業の發達に伴ふことは歴史上明かなる事實なり然るに工業の振興には多額の資金を要し而も同資金は商業資金の如く短期なるを許さず必ずや多額の資金を得長期の如きは之を**外國借款に需むるの外なし**然れども前已に述べたるが如く現時の世界資本國は皆金本位制なるを以て之に就て銀資金を借入れんとするも殆ど不可能なるべく然らば各位が金資金を輸入して之を銀に換價使用せんか金銀比價變動の惡影響を蒙りて大なる損失を見るの虞あるを以て外國借款は事實上に於て之を行ふべからず從て工業の開發を使にすることも能はず此の點より見るも各位は速に金建の取引を滿洲に普及せしめ金通貨の流通を圓滑ならしむるの急務なるを自覺せらるべし以上は唯滿洲の幣制に對したる余の所思の一端を開陳したるに過ぎず素より各位多少の參考となるを得ば幸之に過ぎず何れにしても各位と當行とは互に誠意を表し相倚り相助けて克く滿洲の經濟的發展を圖ることを得ば余の欣幸に堪へざる所なり唯余は常に當地に掩留して各位と日常相接することを得ざるは遺憾に堪へざる所なれども大連には當行理事の一人在勤し又各地支店には支店長を置けるを以て各位は此等當行員と平素胸襟を開き交誼を結ばれ公私を論せず隔意なく之と折衝せられんことを余の特に依頼する所なり尚貴地と京城とは相隔つる僅に鐵路一日行程に過ぎざれば各位は寸暇を利用して屢々京城へ來遊せられんことを余の至願に堪へざる所なり京城に於ては貴我互に語り交情を重ね兩國風俗等を知ることを得て親しく交通し兩國の實を擧ぐることを得べきか是れ余の切に希望する所なり

本日は歳末多用の節なるに拘はらず各位の御來臨を辱ふし一堂に相會して親しく談笑することを得たるは余の大に光榮とする所にして感謝する所なり旅中各位接應の準備不備なるは偏に宥恕を乞ふ次第なり

△傍聽席で華胥の郷に遊んである政友會の知者三君（[illegible]）

勞働者募集
取締に就て（三）
總督府警務總監部 脇野義雄氏談

前述の如く然れども本年に於ては[illegible]內地行朝鮮勞働者の募集に關し從來の許可の際には近時內地の企業者の募集に對し尤も多數を見たるが爲に內地に於ける經濟界の好況は[illegible]

▲最近に於ては　樂觀派の觀說、悲觀說之れなり然れども日く樂觀派の主張する如く假に各國は戰後の創痍快復に至る迄は東洋市場に對して其の勢力を及ぼすに至らず又我國は其の餘力は擧げて以て他の輸出杜絶するに至るも尚ほ軍需品の[illegible]に傾注し得べしとするも其の[illegible]後に於ける産業貿易は到底緊縮を免れざるものとし稍々悲觀說に[illegible]斯界の警戒に怠りなき[illegible]の如し斯の秋に當り産業と離るべからざる關係にある朝鮮よりの勞働者を內地へ繰出すに際限なく[illegible]

▲朝鮮當局に於て　も夙に[illegible]就業以來戰後に至り果して如何なる實況を齎らすべきやに關しては考慮措かざる處にして平素勞働者使用地に於ける地方長官とも特に氣脈を通じ其の調査研究を怠らずと雖も今日迄の狀況にては經濟界に於ける所謂需給關係上必然的現象なるべしと認め警務官憲として募集出願に對し敢て干渉を加へざるの方針を採り來りしが將來と雖も特異の事情の醸生せざる限り恐らくは此方針を持續せらるべし唯公安風俗上何等かの事故を惹起し若は其の虞ありと認むる場合に於ては臨機適應の處置に出でざるべからざるは素より當然の事に屬す尚ほ終に臨み

▲募集出願者に　對し一言を發せざるべからざるは前說の如く朝鮮勞働者の內地移入は經濟上の自然の要求なるべしとし當局官廳に於ては其の募集の許否に關し何等の手心を加ふることなく企業者の企業計畫及び雇傭契約等に信頼せるにあるを以て募集者に於て最も愼重に注意し少くとも其の契約に基き歸郷旅費の給與を履行し歸郷の同胞をして地に陷らしめ延て內地地方官憲をして此上煩を累ねしむる等のことなからしむること及び募集に關する一切の行爲は

▲例へ使用人をして事に當らしめたる場合と雖も前述の如く唯一の例外を除くの外は凡て募集者に於て其責を負はざるべからざるを以て募集從事者の選擇に關しては特に留意を要すべきことゝ之れなり（終り）

千歲乘員入京期

二月八日仁川に入港すべき練習艦千歲乘組の機關少尉候補生並に下士卒は二月九、十兩日に別れ入京市內を見學すべき旨其筋に電報あり

宿屋組合總會

京城內地人側旅館組合春季總會は三十日午後六時より料亭白水にて開催前年度の收支決算報告あり役員の改選を行ひたる結果左記の各旅館主再任す

▲取締役 城館 ▲評議員 山本旅館、天眞樓、清光館、不知火、浦尾

馮總統討伐決心
總統令起草＝三十日發布か

馮總統は二十九日歸京後直ちに閣員を召集し「蚌埠にて倪嗣冲、張懷芝、李純代表王廷楨、何參謀長、黃中將、田總長等と會議したるが其の結果皆命に應じて直ちに出征することゝ爲り既に張、曹二司令は保定にて命を俟てり李純亦一旅の出兵を約せるが政府は此の際大決心を以て討伐の効を奏す可し」と宣布し同時に左の總統令起草を命せり

一、譚浩明、程潛等の討伐
二、[illegible]敬堯を湖北後援司令とす
三、[illegible]紀の振肅
四、石星川、黎天才の軍職勳章褫奪

右命令は三十日發布さる可し（北京特電）

岳州南軍討伐令

北京政府は二十九日直隸督軍曹錕、山東督軍張懷芝及び徐州の張敬堯に對し直ちに兵を派して岳州の南軍を討伐す可き軍令を發せり（北京特電）

人事消息

▲芳野中佐來鮮　羅南歩兵第七十三聯隊附歩兵中佐芳野二郎氏は平壤及び義州諸部隊見學の爲同地出張の途次二十九日來龍三十一日平壤に向ふ筈

▲野口次郎三氏（總督府技師）　三十日附を以て慶尙北道管內に出張を命ぜらる往復十日間の豫定

▲岡本桂四郎氏（總督府土木課長）　三十日附を以て仁川へ出張を命ぜらる

▲今野前藏氏（總督府技師）　三十日附往復七日間の豫定にて全羅南道へ出張を命ぜらる

▲竹越藤藏氏（遞信局海事課技師）▲伊藤清七郎氏（仁川海事出張所技師）　二十八日附を以て神戸へ出張を命ぜらる往復二十四日間の豫定

▲保科子爵（總督府技師）　黃海道へ出張中の處三十日歸任

▲白井發衛氏（大邱署長）　三十日夜入京

▲西尾州總督府醫院長　三十一日午前內地より入京南尾へ

▲吉野步兵中佐（羅南七十三聯隊）　三十一日午前平壤へ

▲杉野鋒太郎氏（遞信局參事）　三十一日午前任地へ

▲高橋釜山高女校長　三十日午後退京

▲藤木陸軍省主計　三十日夜入京南山ホテルへ

▲林和一氏（木浦警察署長）　三十日夜入京旭町二丁目大槻醫師宅へ

大阪だより

▲建築煉瓦氣丈　建築用赤煉瓦は昨年新事業會社の創立勢盛となりしより需要頓に增加し一方冬季は鐵道船腹共に缺乏の爲め此方面よりも市價昂騰の勢となり又本年に入り建築材料として煉瓦煉瓦の爲め自然産高少なく赤煉瓦中等品は目下十九圓となり昨年末に比して一、二圓方上向きの姿にて尚今後需要の增加を氣構へ目先强含みなりと

▲鉱力漸次荷薄　鉱力は米政府の禁輸當時には玄人並に素人の思惑あり隨つて在荷は相當潤澤なりしも米國方面より既約品の積出終ずると共に百封度物の如きは石油會社並に横濱クラウン會社の王冠用として在荷品を買集めたるにより昨今にては殆んど在荷皆無となりたるの觀あり百七十封度ものは百封度ものに較べては需要少きより相當に在荷はあれど之れも輸入皆無の爲め漸次在荷薄を告ぐるより九十五圓擱みの强含みの市價を呈し居れる次第に外ならず前途は益々在荷の僅少を訴へんとするの事情なれば漸次市價は引締りの成行を辿るより外なきもの如し

▲石油炭鑛漸騰　石油株は頗々たる油價の値上げに氣乘り振興し且つ平和株として歡迎せらるゝものあるより過般來漸騰しつゝあり又北海炭鑛及び九州炭鑛等は石炭の需要大勢より推して前途を樂觀せられ引續き買物入込多く利喰賣物を消化し以て各株共二圓內外の續騰を見るに至れり

▲木炭一齊低落　賣行一般良好ならずして在荷潤澤となり氣配逐日挫折の姿なり堅物は北陸地一帶は降雨の爲め入荷薄にて依然品不足なるも相場五七丁方下押なり十釜物市場の下押相場につれ投賣をなし平均二十丁方低落せり（大阪支局）

本紙定價　△一部金二錢五厘△一ヶ月金五十五錢△三ヶ月金一圓六十錢（郵税一ヶ月分金十二錢）
廣告料金　△五號活字一行金五十錢△七號活字一行金三十錢
發行所　京城太平町通一丁目　京城日報社
電話番號　編輯局・營業部[illegible]

◇氷を割つて芹採り

東大門外の鮮人百姓、大切な芹田でスケートをやるとは怪しからぬとスケートの連中を睨みつゝ堅い氷を切り割り冷たい水の中に手を突込んで芹を摘取つてゐる

る、大正二年頃は密漁が盛んで隨分大袈裟に南鮮沿海から對馬近海を荒したため、自然破落漢も多く三日にあげず喧嘩をなし漁村は血の雨の降らぬ日とてはない程であつたが現今では官憲の取締が嚴重であるから漁業界の發達に反比例して密漁船が減じこれに伴ふて斯うした惡弊も除り亂暴も出來ず漁村も大分穩やかになつて來た。

●女と爆藥に絡まれた 密漁船の裏面（５）

躊躇つてゐる一刹那に轟然爆發して全身を粉碎される事がある

密漁船の乘組は大抵三人位で、その中の一人が爆藥を扱ふ事になつてゐる逮捕された場合は全責任を負ふて監獄に行く事となつてゐる從つて斯うした奴は命知らずの荒くれ漢で一旦爆死、失敗つて入獄と言ふ恐ろしい

▽因果應報を

何んとも思はず、幾分割前の高いのに欲心を吊られて危つかしい綱を渡つてゐる、爆藥を投げ込む場合は眼の前に鮪の大群が押寄せて一刻の猶豫も許さない場合であるから導火も二寸か三寸に短かくして點火すると同時に海中目蒐けて投下し、手を放たれた爆藥が水中に落下するや否や爆發する位ゐに間一髪の

▽機會を利用

せねばならぬが恁んな場合風でも強く吹かうものなら點火したかどうかと解らぬので一寸躊躇ふ、躊躇つてゐる一刹那に轟然爆發して輕微の負傷で手を捥がれ、甚しいのになると全身を粉碎される、倉皇て上陸すると其の噂がパッと擴がつて其筋の耳に入り警察に逮捕されるなぞ、踏まれた上に縛られるやうな事も珍らしくない、救濟法として

▽憂目を見る

醫療費は勿論家族扶助料から葬儀の費用まで一切仲間から出し、若し發覺られた場合も在監中は家族の割前を與へる事になつてゐる、其ばかりでない面白いのは入獄引受屋なるものがあつて一箇月三四十圓で他人の罪を引受ける、斯うしたものは大抵前科何犯の者で殆んど無頼の徒に屬する者のみであるから

▽貰つた金は

遊興費にして了ひ、金が無くなると密漁船の船頭に無心を吹きかけに行く、不承不精でも應ずればよし若し刎ねつけでもしやうものなら俺の舌三寸でお前等は只では居られぬ體だあねわかつたか十や二十の端金が欲しいか、それとも珠數繋ぎになつて臭い飯を喰ひたいか、さ返答をして呉れなんて紋切型に尻を捲くつて胡坐りこむので

▽長い者には

捲かれろで僅か許り摑ませるとそれを宜い事にして脅迫を専門にや

●命懸け 西比利亞の旅行

『將校の肩章を剝いで了へ』

荒木貞夫氏談

露西亞から歸朝の途西比利亞鐵道を五日……非常な困難をした、我々の列車についてゐた機關車が無くなつたかと思ふと過激派の兵隊が自分達の列車を運轉するために……行つて乘客が……

●驚き騷ぐ頃

……

●軍服の手前

……

●一切運んで

……

●これは後備

……

●普通學校燒失

三十日午後八時三十分頃全南和順郡同福面普通學校宿直室より發火し同校を全燒したるも人畜には死傷なく損害原因は取調べ中なる旨警務總監部に入電ありたり

●積載貨物を海に棄つ

第三琴平丸の遭難

……

●巡査五名卒倒

……

●劇藥密賣

……

●罷業動機 沙河口職工

會社側態度强硬

……

●小寺老子女史

佛國より歸朝

……

●大阪横綱行擧

……

●大阪力士頓死

……

●金剛山の野火

……

梅一輪

▽朝鮮は寒いのと

空氣が乾燥するので何うかすると子供は呼吸器をやられる事があります　青木農務課長夫人のおはなし

「大變お暖かでございますね、之れで結構でございます」を思はせる樣な其の典型的な容姿は花ならば白百合の氣高さに露を含める風情がある「子供は三人もございますが皆女の子計りで一向駄目でございます」まだうら若い秋子夫人も斯うして三人の兒を守り立て行かねばならぬ重大な責任の下に置かれた「長女は鍾路の

回尋常四年でございます、元々日の出の方が近いのですけれど此所は鍾路の區域だそうですの

（寫眞左より秋子夫人、美子さん、壽子さん、節子さん）

うでございます鍾路學校は服裝も場所が場所と申しましようか他と比べてよほど質素でよございますね

登校時間が改正になりまして好都合だと存じます今迄は朝ご飯も一人で戴いてさつさと參らねばなりませんのが此の節は家内一緒に食卓に著きますので親しみが深い

回呼吸全で 朝鮮は寒いのと空氣が乾燥するので子供は呼吸器をやられる事がありますから其邊の注意はよほど必要でございます

回花卉が好きだものでございますから溫室がありますので出張でも致しますとみんなこちらで世話しなければなりません

●國境の馬賊

國境方面支那領に於ける馬賊の出沒に關し憲兵隊の出役回數百回延人員四千五百七名鮮支人被害死傷二十七名金品額二萬九千六百二十圓に達せり又所在鮮……

……人加藤一郎が客臘二十八日大邱署に拘引され本月二十二日業務横領罪として大邱地方法院へ送致せ……木滿綱（釜山）の兩氏なりと（大邱）

●連絡船上陸客

三十日午前釜山入港新羅丸一二等客人一名三等百九十五名三十日午後釜山入港さくら丸一二等客……

讀者文藝 課題及び募集規定

□募集規程　▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲……

天氣　晴後曇但小雪

商況

大阪三品特電　大阪株式同電　大阪堂島米特電

●內地製粉狂騰　白糖製產能力以上　買方……　●錫在庫稀薄　威靈……

值段高の南內蒲……　●鐵力板下押　四圓……二圓安　●白胡麻漲騰

下關相場　場面狀變　一圓丁度四錢高

●西貢米商談　一袋六圓七十五　鏡輪入稅一圓を加算

引續約四五圓方　四五圓方引上

●正米下値ぶり　賓收豫想　五千四百餘石と噂　人氣甚

混沌を極め　●燐寸は高報　約五圓方の奔騰

仁川正米　氣配一變高人氣　渾沌の裡に强

▲受米賣行說　其買本尊に就　契約成　十九圓五十錢

仁川取引所　三十一日の二月限

▲新甫の氣配　例年多少の上　以て一變高人氣　▲正米界も稍落　付き模樣を呈する　存外の安値　受米値段　或は十錢乃至二十錢下落

今村慶次郎　小西へ受米

▲當月限受渡高　內二萬五千石大阪小西精米所へ賣約出來

大混戰演出　强含み　硬成行　無理相場

仁川期米　三十日前場　下關（强硬）　一時半七月限　大受渡四萬三千八百石に過

釜山穀物　合計四萬石　賣却

市場雜觀

……

馮總統の南下まで

時局は急轉直下す―段派陰謀切崩しの魂膽か―北京の大局に於ては變動なかるべし

主戰と云ひ主和と云ふ、中央の形勢は混沌として渡る茲に一月、馮總統の遲々として決せざる態度に吾人は曾つて其意のある所を疑ひたり。最近に至り唐繼堯代表陳鈞及び岑春煊代表章行嚴の入京は南北妥協の機運に導きたる如く和議の聲は藹然として蔵り本月廿四日國務會議は南北の提出に係る重要なる妥協案を討議したるが恰も當日南軍の岳州總攻擊、北軍敗退の飛報到り時局は急轉直下再び妥協の絕望を思はしむるに至れり。

▲馮總統は當日 總統府會議終るや直に徐世昌を其私宅に訪ひ前總理段祺瑞も參與して一時間に亘る密議を凝したり其內容は甚だ秘密に附せられ居るも探知する所によれば馮總統は當日段祺瑞に對し南方出征を懇願したるに段氏は出征ならば貴總統親ら出馬さるゝが宜からんと體よく拒絕したりと傳へらる、是れより先、湖北の王占元は連日に亘り武昌の危急を告げ援兵を乞ひ來れるに對し馮總統は曹錕、張懷芝に其の援軍を求めて湖北を應援せんことを求めたるも曹張は中央にして討伐令を出すに非ざれば出征し難しと答へ僅かに動かんとせず、是に於て馮總統は覺に自ら陣頭に立つに非ずんば危局を救ふに由なしと感じ茲に南征の意を決したる次第なり。但しこは馮氏南下の動機に過ぎずして南下の理由に至りては、實に深き魂膽のありて存するなり蓋し北軍の湘沙の大敗、王汝賢の一電に職を抛つたる

▲段祺瑞は爾來 都門に蟄居して政治を語らざるも其の自らの馮總統の陰謀に陷りたるに對して怨恨骨髓に徹するものあり、徐ろに報復の計畫を運らし居るを知るべく段派四督軍の結束は變じて主戰派十七省督軍都統の團結となり其の牛耳を執る奉天の張作霖の如き出兵討馮の說迄傳へらるゝが如く馮總統にして安然として都門に坐するに於ては其地位愈々殆きに瀕し遠からずして必ずや段派督軍の爲めに蹴落さるゝに至るや明かにて此間の陰謀を察知したる馮總統は一度び都門を退きその南京の本據に立籠り腹心の李純等と圖りて南方より段派陰謀の切崩しを決意したるものにて表面出征に名を藉りて主戰派督軍と意志を疏通し裏面段派陰謀破壞の大目的を有す

▲即ち出京後は 先づ天津に曹錕と打合せ濟南に張懷芝を訪ひ蚌埠に立寄りて倪嗣冲の意中を探り次で南京に李純と一切を計畫せんとす蓋し馮總統が南下の決心を爲すに至りしは段派の陰謀に對し進撥したる結果にて或は陰謀[illegible]月を期して馮氏討伐の旗擧げせんとさへ傳へらるゝ際とて馮氏が此の計畫に出でたる決して偶然に非ざるを知るべき也、尙ほ馮氏出京後の治安に關しては出京の前日軍警會議にて決せられ且つ後事は王總理より萬事を引受け、徐世昌亦援助すると云ふことあるべければ大局に於ては變動なかるべしと觀察され居れり

▲暴騰に亞ぐに 暴落相場ありて一般に其の危險を危惧し例年の如く仕入せざる傾向あり且つまた特產物は奉天に於て極めて少量の取引なるも豆粕並びに豆油の相場暴騰せる爲め一般に好景氣なりと要するに目下の奉天市況は振はざるに非ざるも一般金融界は例年に比し大に逼迫せるが如く觀測さる

●軍器輸送開始

過般我が泰平公司と支那政府との間に締結せられたる軍器借款によりて我が軍器の第一回輸送の分は已に本月二十三日橫濱より積出され大連に着いて來月上旬より天津南京へ輸送の豫定なり第二回第三回も引續き輸送すべく來月廿日頃迄には全部引渡し濟となる筈也

●奉天の金融

市況は活潑なるも金融は依然逼迫

目下支那正月を目前に控へ居れる奉天の金融は一般市況の活躍せるにも拘らず案外に緊縮し逼迫せるの觀を呈せり其の原因は年末の決濟期に近づけると共に一般支那側銀行の貸出を引締めたるによるものにして且つまた省城以外の田舍に於ては各大商店が信用によりて發行せる一覽拂手形の（街條子）が濫發されたる爲め該條子と小洋錢との間に

▲相場の差異を生じたる 原因もあり其の他支那銀行の發行せる紙幣が硬化との間に開きを生ぜる爲め各銀行共紙幣兌換の苦境に陷り居れるも其の一原因なり其の他兌換紙幣の代りに發行せる興業銀行の四分利付債券の如きも金融界に影響するところ尠少ならざるが更にまた部分的にこれを看れば錢莊側の露貨留紙幣の思惑に尠からざる

▲痛手を負へる ものある爲め或は留布の創拔は稍や回復せるかの觀あるも要するに支那の商慣例として一年四季の決濟期あり殊に目下の年末と仲秋とは一年間の大節期なれば金融の逼迫せるも無理からぬ次第なり猶ほまた奉天輸入品の大宗なる綿絲布取扱ひの綿房は本年の穀物相場比較的の高値なりし爲め一般に好景氣なるも綿絲布は昨年以來

●支那電燈計畫

果して實現するか

近來安東縣支那町在住支那人某なる者の主唱により電燈會社創立の計畫ありて著々其の調査の步を進めつゝあるものゝ如し今其の內容を聞くに其の主唱者は王某なる者にて相當利益は收め得べしと語り居る由なり元來支那人は極めて頑氣に富み常に進取的態度を持して支那人側にては昨年の如きは[illegible]挑はれ居る者にて以て百萬圓の支那人の大銀行を設立し以て安東財界に一大飛躍を試むべく計畫せしも由なるも不幸其の實現を見る能はず今日に及びたる事もあると故に今回は極めて愼重なる調査研究をなしたる上先づ大體に於て豫算も立ちたるを以て商務總會を動かしたる結果總會に於て全部も大に乘氣となり總會に於て決定したる由にて目下は總會にて尙一層の調査

●大連より

○大連で一萬以下の儲け話をすると嗤はれると云ふ事である事實は兎も角として大連在住の邦人が妙に成金熱に浮かされて一攫萬金を夢想して居るのは事實である

○而し誰にも左樣に金の儲る譯はなく金儲けを爲る者は相當の準備と計畫との下によし投機にせよ何にせよモルヒネにせよ儲かる理由の下に儲けて居るのだ

○他人の儲けるのを見て夢中に成つて走り廻る連中を傍から眺めて居ると隨分滑稽至極である、杼を捨てゝ鋤を捨て機上の者は杼を在る者は鋤を捨てゝ人の金儲けの尻を追廻すのは正に大連人の仕事ではあるまい

○斯んな滑稽の結果は各方面の老若男女をして射倖心を增長せしめ博奕に等しい投機に熱中し眞面目の職業に從ふ事を甚だしき迂遠の事と考へるに至つた支那人の投機性を嗤つて居た大和自身が支那人以上の投機好きに成つて居る

○支那人は一つの貸物を抽籤で其の得分の多い事を爭つて居るが大連に於ける日本人の間にも甚だしく之れが流行して居る市中到る處に客を招いて居る彼の買會と稱するものが夫れである

○賭買會とは外聞は甚だ立派であるが其の內容は立派な一種の賭博だ例へば百圓の物品を十ヶ月賦で賭買するを定めて有つても第一回目の抽籤に當つた者は十圓で百圓の物品を取れる

○其の結果は最後まで十ヶ月懸金をした者は即ち賭博に敗けた者だ懸金の利子を損する許りでなく品物も最初示したものとは大違ひの物品を渡されると云ふ事だ其んな實例は幾らもある

○それを知りながらも猶且つ購買會の繁昌するのは一般に當該者が極めてかゝるからだ賭けるものを考へて賭博をする者の無いのと同じ事だ此の賭買會が大連市中には何百三十組もあると云ふから驚く之等は邦人のチャンス化だ[illegible]ぶべきであらう

○斯うした結果はどうだ、大賭場たる大連だけは繁昌するが一步大連市外に踏み出せば荒涼たる有樣だ十年間日本政府の下に置かれた滿洲の土であるかを[illegible]

○花札や骰子ころを使ふばかりがバクチではないこんな弊風は一日も早く止めて終ふがよからう

○夫にしても銀やモルヒネや阿片や賭博で儲けた者をばかり目宛にして自分の仕事も爲ずに足下に火が付かずに騷ぎ廻る大連人の大部分は如何にも馬鹿々々しいぢや無か

●陸棉販賣閉鎖

慶尙北道管內各郡に於ける陸地棉共同販賣所は來る二月十日（陰十二月末日）限り何れも閉鎖する筈なるが其の內軍威は本月二十九日孝義は三十日義興は三十一日を以て閉鎖さるゝ由なり

●籾賣買益旺盛

忠北沃川其他の小驛に於ては近來採算上の利益如何に拘らず米の移出減少し却つて籾の移出旺盛に行はるゝに至れり其原因は種々あるべしと雖も主として米穀檢査規則施行の一反響なりと見るを至當とすべし是に就ては當業者の語る處を聞くに籾の儘にて販賣する時は俵裝の費用を省くことを得べく乾燥の適否に關せず[illegible]必要無く、爽雜物の混合を如何ともなし得らるゝ鐵道輸送の如き[illegible]の精査殊に爽雜物、赤米等の混合品種、一度玄米となしたる後[illegible]するに於ては何等の損害なきも不合格米となる[illegible]儲放的ずるより更らに甚しき損失を見るが如き例少からざるを以て自然籾の商買旺盛となりしものにて栽培地よりも在來種栽培地に於て殊に此の現象は小驛及び新種栽培地に甚しきものあり云々

●宗教と信徒

朝鮮總督府の宗教は神道、佛教、基督教の三者にて之れが神社、寺院、教會堂、布教所を擧ぐれば神道六、佛教九、基督教十七なるが更に其歸依、信徒數を示せば左の如し

[illegible]

前表は昨大正六年十二月三十一日現在の調査なるが由來宗教上の歸依、信徒數の統計を作製するは頗る困難の事業にして其的確の數を知るは蓋し不可能とも云ふべくされば前記の統計も只其大數を知るの便とするの價値に過ぎざるべし

●貸付造林不良

受付者一萬一千餘人に達し貸付造林の面積は大正元年以來十二月十日開[illegible]

[illegible]頗る僅少なるに想料すれば多分[illegible]期間の組織延期を要せざるべからざるが皆ては既往に於ける成績は[illegible]行の之れに伴はざるの傾向を示す[illegible]手續を履行せしむると同時に一面[illegible]

●簡閱點呼と注意

朝鮮在住者にして兵役に關係ある者に對し本年度より內地同樣簡閱點呼を施行せらるゝこととなりたるが兵役關係者にして此節に朝鮮のものあり該點呼施行の召集に應せざる者は拘留科料の處分に附せらるべければ關係者は注意を要す尙內地に居る手續未了の者は在鄕軍人分會に入會し置けば其の分會より點呼の日取を通知すべし

當業者の實績を監査し速に事業成功の域に達すべく指導督勵を怠るなかるべきを以てせり

△近來北滿地方の景氣は素晴らしいものであるが此の好況を利用して發起されたる東省實業公司の如きも長春に於て株數の六分の一萬株を引受けたるとなつた△其の他東拓に於ても銳意此の方面の開拓に努力するらしい△奧地の利源開發とへば滿鐵部に於ても支店を設けて貸込みたいとの希望もあるとか△兎に角金融の申込も多いと云はれ、滿洲商工業の發展の爲めに第一に此等の地方に對する金融機關を力說してゐる總裁はこれを要げ第に設置するこの的を達するに就いては近く鮮銀も特種の一機關を設置するの普及、第三に此の地方に就いて鮮銀の相互的を說いてゐる△而して第三の鮮銀が本業務に無關係である譯にも行くまい商業銀行たるの業務を主とすることは一般金融の必要上不動產銀行の如き業務勿論であるが場合によつては一般であるから△兎に角東拓と云ひ鮮銀と云ひ大に在滿邦人の發展を逑べてゐる總裁は滿洲にある鮮銀の店は現在に於て總數十五、これを大正二年七月の大連、奉天、長春の三店に比しては後援となる決心のやうである△彼此一新の時日としてではなかつたから四年目に盛んに發展したものである

◆みぞれ豆腐◆

[illegible]

演藝案內

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 櫻井町 大正館 電話八七三
二月一日より 新派悲劇 [illegible] 夕刊賣

京城 黃金館 電話二三六七 二三六六
二月一日より [illegible]

有樂館 電話[illegible]
新派悲劇 娘氣質 全四卷 [illegible]

京城 壽座 電話五七八番

此糸蘭蝶 有樂館 電話二九〇五番

一月一日より 大入御禮 新派 娘氣質 全四卷 怪劇 電話の聲 十四場 新內 此糸蘭蝶 有樂館

本町五丁目 稻荷座

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番

公告

一、二等道路光州潭陽線ノ內松汀里光州間改修工事
右工事請負入札ニ附ス入札保證金各自入札金額百分ノ五以上（但シ位未滿切上ゲ）
此契約ノ締結其ノ他ニ關シ詳細ハ本廳ニ就キ承知スベシ
大正七年一月三十日
全羅南道

公告

一、二等道路光州長興線災害復舊工事
一、同 昌平水石線災害復舊工事
右工事請負入札ニ附ス入札保證金各自入札金額百分ノ五以上
大正七年一月三十日
全羅南道

生徒募集

本年四月本校ニ入學セシムベキ生徒約百名ヲ募集ス詳細ハ本校ニ就キ承知スベシ
大正七年一月二十八日
平壤中學校

自働車賣却

米國製フオードヤア式貨物自働車 總馬力二十馬力積載重量壹噸半 一臺
[illegible]
全羅南道 吉川直藏

謹告

今般松岡質店廢業に就き[illegible]
大正七年一月三十日
京城明治町二丁目九四
片山質店 電話二六五

恩給 年金證書 五數年 上州屋 大阪日本橋北詰 電話一八〇

進呈 大正式製粉機

晶の道しるべ 村上唯吉著

朝鮮語會話

朝鮮總督府嘱託 西村眞太郎著 第四版

賣捌所 大阪屋號 京城日報社代理部 京日各支局

貯蓄預金

元金百圓ニ付日步壹錢三厘
株式會社十八銀行京城支店

種苗代價表

日本種苗株式會社

營業品目

肥料部 石鹼部
朝鮮肥料製造所 電話二六三五番
朝日石鹼製造所 電話二九〇七番

人事周旋業 萬年社

入學準備者のため

日本研學協會編纂 京城日報代理部

黑鉛 高價買入

門司グラファイト製煉所

八十二回選人員二千六百三名
人被害死傷十四名金品額九千五百
三十九圓にて同年下半期に於て出

●加藤一郎公判 大邱府協議員學校組合議員商業會議所特別評議員の肩書を有する訴訟代理照島兩判事、永尾檢事立會の上二日公判開廷と決定したり辯護人は辯護士堀池常作（大邱）佐々

豫報

京城 [illegible]

汽車　京釜線（南行）　同（北行）　湖南線　同　連絡　同（北行）　京元線（北行）　同

[illegible]

左甚五郎

第百五十五席　桃川如燕口演　浪上義三郎速記

兵藤平内は相變ず高砂屋の刻藻の許へ參つて二人して小鍋立酒を飲んで居りますと、ワアワツといふ聲が聞ゆる何であらうと思つて新造を呼んで聞くと　新『まア困つてしまひます、毎度のことでございますから　平『何だ　新『大島源五兵衛といふお武家で綾衣さんのお客ですが、何か氣むけが惡いと云ふので怒り出して亂暴をして居るのでございます、それに鐵の棒を持つて來て振廻して居ますから手の附け樣も無いので若衆達も困つて居ります　平『ウム、あの大島源五兵衛といふ奴は浪人者で鐵棒組と云つて黨を結び、此の廓へ入り込んで暴れ廻つて居るといふこと、一ツ俺が捕押へてくれやう　新『有難うございますが先方は大勢殊に鐵の棒を持つて居りますからお怪我でもなすつては　平『高の知れた痩浪人、心配するには及ばぬ』と平内は部屋を出で隣り座敷へ來て見ると、イヤ亂暴狼藉、皆な逃げてしまつた後座敷の中央に大島鐵棒を突いて立つて居る、其の傍に三人の侍が何れも鐵の棒を持つて居る、平内其處へ參つて　平『アイヤ其處なるお武家、何うかお靜かに願ひます、第一鐵の棒なぞを振廻されては危い　源『貴樣は何だ　平『拙者は當家へ遊びに參つた者である　源『要らざる處へ出しやばつて目出しをする、客さあれば彼方へ行け　平『何うかお靜かになすつて　源『不禮をいたしたによつて暴れたが何とした、兎や角吐すと爲めにならんぞ〇『エー先生こんな奴は懲らしてくれやう』と虎の威を假る狐に等しく、三人の侍は鐵の棒で打つて來るのを平内は身を避し一人の利腕を捉つて拾上げ肩に擔いで投げ飛す、二人の奴を前後へ蹴飛ばした、大島源五兵衛是を見て　源『ヤア此奴、拙者が門弟を手込にいたしたな、觀念しろ』と持たる鐵の棒を取直してブーンと風鳴を生じて打下して來を平内素早く身を轉じ利腕をハッシと打てば鐵の棒をバッタリ落し一刀の柄に手を掛けんとするを腰を蹴上げた爲に堂と倒れ、起上らんとする源五兵衛を壓へ上に跨り　平『何うだや源五兵衛恐入つたか、改心をするとあらば一命は助け遣はす、背き入なければ斯くの通り』と首筋へ手を掛けて締めつけた　源『イヤ俺が惡かつた何うか勘辨をしてくれ以來亂暴はいたさん　平『改心をするか　源『如何にも改心をいたした、以來亂暴はいたさんから命ばかりは助けてくれ』平内は飛びのいて、源五兵衛を引起し　平『御身が改心をすると云へば俺も喜ばしい、さア此方へ來て一杯飲みなさい　源『有難うございまする、然て貴殿の御姓名は何と仰せらるるか　平『拙者は兵藤平内と云ふ者である　源『然て御住居は　平『田町邊に居るのだがそんなことは何うでも宜い、まア一杯進せるから此方へ來なさい』と平内は大島主弟四人に馳走をして歸しました主人を始め若衆一同其處へ參つて禮を述べる平内は是から暫く飲んで居たが、何か用事でも出來たか消つて行けさ云ふのを肯入れずして高砂屋方を立出で、大門から土手へかゝつて參りまする時の程より飲み續けて居りました故甚く酩酊をいたしました、一歩は高く一歩は低く千鳥足　平『あゝ大層酔つた、刻藻が泊つて行けと申したが、明朝據ろない用事がある故止める袖を挪つて來たが、何時に變らぬ刻藻の親切』と獨語を云ひながら土手下へかゝらうとする時に、向ふより覓け來つた黑扮裝の一人、ドーンと突當らんとする、身を交した途端、土手の左右より十二三人の者が立現はれて平内を取卷きました、何者かとキッと身を構へた。

新築落成　京城明治町一丁目　入院隨意　胃腸病院　院主　佐々木杏造　電話一〔二〕〔三〕

痔疾專門　京城明治町二丁目（本町より中程）　京城久枝肛門病院　入院隨意　電話二一〇二番

▲書籍御案内▼
岡本三藏版 米吉版　商工界の七十日　價五〇　郵稅六
同二版　修學行商日記　價三五　郵稅六
同　組育市內外の地所　價九〇　郵稅六
京城太平通壹丁目　京城日報代理部　電話長六六〇、三三〇番　振替口座京城三〇六番

周易　介石堂　明治町三丁目　岡村介石

二月二日　九星　本命五黄八方平友り　舊十二月廿一日庚辰

▲五黄●　〔卦〕する方位は〔東〕南方は〔凶〕吉凶なし▲六白●　利運し日頭居入參金作名●求厭利前の鑑入和の和を〔示〕る方吉●▲七赤●　好事始出り日勤居〔者〕入參金作和●女子の獨立〔は〕皆吉▲八白●　蝸り〔出〕の〔新〕〔事〕●九紫●　日初第手お和して未に用心せらるべし▲一白●　大胆〔事〕〔は〕日〔新〕〔に〕〔着〕行未〔腦〕名〔望〕〔在〕〔金〕●〔作〕〔館〕諸人〔の〕〔件〕〔吉〕▲二黒●　因果〔な〕〔事〕〔に〕〔掛〕〔る〕〔は〕吉▲三碧●　一〔パ〕イ〔喰〕はんとす〔新〕事〔日〕〔新〕〔事〕〔は〕〔保〕〔證〕〔部〕〔印〕〔な〕どは〔婦〕人〔と〕〔別〕〔れ〕〔な〕〔る〕〔切〕〔れ〕▲四緑●　〔不〕〔傍〕〔聖〕〔頭〕〔の〕〔手〕〔の〕〔あ〕〔す〕〔は〕〔如〕なし

腦病と人の運

諸君は如斯して不快なる腦神經衰弱を治療して多幸なる運命を開拓せよ

▼頭痛のする人

人は自分の運の好い惡いを神樣か何かの力であるやうに思つてゐるが之れは大きな誤りであつて人自身が自分の運の神樣なのである、だから腦の神經も貧乏神も其人の中に住んで居るのではない、即ち決して他にあるものでもない、人の頭の惡い時は何うしてもイヤに頭が重くて困る模樣で、頭痛のためにクタ〳〵になつて社會に出來ないとする、それに反して健康の腦を有する人は何故運が好いか、それは人の厚い事を仕遂げる即ち健康の腦を有するので此人が好い運をも〔ら〕ふのである、其處で「あゝ俺は何故運が惡いんだらう」と歎くやうになるのではない、これは決して運が惡くなる事ではない、自分で自分の運を惡くするのである、此場合「自分の惡い頭を治す事は即ち自分で自分の運を好くする方法なのだ、即ち腦病の良劑レーベンの發明者常持醫學士の二冊の治療書はその方法に外ならない

ショリと流れてゐると云ふ樣なのは翌日の氣分の惡い事は勿論〔illegible〕

▼記憶の惡い人

醫學士常持治氏は此二冊の腦病治療書を讀み社會に廣く活動してゐるかと云ふに、つまり今云ふ世の「運の惡い人」を救ふためにに外ならないのだ、問題はそのために其半生を費して苦心慘擔たる結果有名なる健腦新劑レーベンを發明した位である一體今の世は腦神經衰弱時代と云つても好い位で男なら腦神經衰弱女ならヒステリーの人が多いのだ文明が進んで生存競爭が烈しくなるに從ひ殖へる病氣であつて頭痛のする人なども此病人である僕は近頃何うも胸が惡いなど云ふ人も此病氣にとりつかれてゐるのだ、ツマラない事をひよい〳〵忘れてゐる中は未だ好いが知らぬ中に病氣が進んでやがては親しい友達の名を忘れたりする位になる此點は學生など最も注意すべき事であつて學業優秀の青年たるには何よりも健腦が大事である

▼夜眠れぬ人

腦神經衰弱の症候の中で最も苦しいのは夜眠られない事である　いざ床についたとなつてもさまざまな妄想があとからあとからと湧いて來て却々眠れない眠らうと努力すればする程益々眠りかねてつまらない取越苦勞をしてみたり莫迦げた空想に追はれたりしてやがて一時の時計がなり二時の鐘を聞き終には頭が何かで壓されるやうに重くるしくなつて來る遂う〳〵夜が明ける……たまたま眠れば不愉快な夢に襲はれて冷汗全身にビツショリ〔illegible〕

▼飽きつぽい人

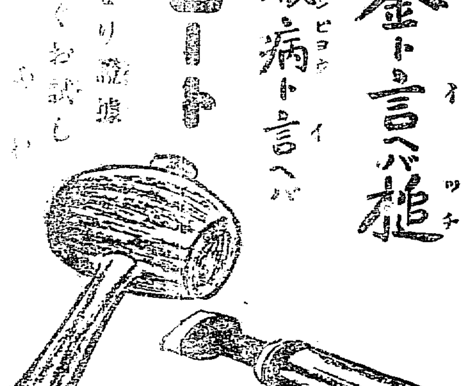
夜眠れないために翌日顔が不愉快なのは云ふ迄もない事だがそれがために仕事が捗らないのは云ふ迄もない、其人のために何れも熱心になれない位不幸である、此病氣の一症徴であつて〔illegible〕

〔illegible〕斯る人は一日も早く治療法に從ふか〔illegible〕レーベンは既に社會的に其價値を知られてゐるのであるから〔illegible〕岡田醫學博士も推〔illegible〕學士其他陸軍軍醫諸大家が證明して第一に植物性の藥であつて〔illegible〕常食する東洋人に適合し第二に腦の要素たるリンサンを含んで居り第三にその製劑法が最も完全であると云つてゐる〔illegible〕

▼優柔不斷の人

腦病氣の人は俗に云ふ「グヅ」であつて些と手紙を書くのも面倒で何でも面倒臭がるものである。訪問するのも面倒で常に己が生活をしてゐる其中に自信力の缺乏や厭世の情などがわけもなくつのつて來て終ひには取返しもつかぬ運命に入るのであるから速に治療の法を講ずるがよい何の手數はない只ハガキ一枚を認めて東京市京橋區弓町二十二番地弘濟院中南定太郎へ申し込めば常持醫學士の「腦神經衰弱療法」「精神療法」の二冊子は直に無代で呈さるゝので此書は容易な文章で何人にも理解出來るやうに簡單な療法が書いてあるのであるから人は自分自身の醫者である神である自分の心掛一つで幸不幸は分れる遠慮なく今直に申し込むがよい

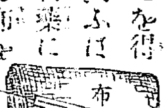
鑿（ノミ）ト言ヘバ槌（ツチ）
眼病（ガンビヤウ）ト言ヘバ
ロート
論より證據
直ぐお試し



ロート目藥と他の目藥と異る特色

（一）ロート目藥は眼科を以て有名なる東京眼科病院長獨國醫學博士井上豐太郎先生の處方に係り大前藥學士の鑑査を經たれば患者は安心して用ゐることを得

（二）病眼を不潔の手布等にて拭ふは目の爲に惡し故にロート目藥には下圖の如き消毒したる布を添ふ



（三）點眼器の鋒の尖りたるは目に危險なり、ロートの點眼器は鋒を丸くしたる故危險の恐なし

（四）レシズ痛まず故に小兒に用ふるに便利也

▲藥は必ず思ひ立たる時買ひ玉へ

比較　一品質の優劣良否を判斷する一番の早道であります、故にロート目藥と他の目藥とを比べ玉へ

効能　一切の眼病に用ひて他の目藥で及ばぬ效能あり◎但しソコヒには効なし

定價　德用大瓶五十錢　中瓶二十錢　小瓶十錢

ロート目藥本舖　東京市日本橋區本銀町三　山田安民藥房
ロート目藥發賣元　大阪市東區南久寶寺町二　山田安民藥房
◎全國各藥店に請賣す

朝鮮總督府裁判所通譯　山之井麟治氏二大著書

在鮮人士の必備缺ぐべからざる二大珍書

鮮文　普通文官應試提要　寸珍型洋裝頗る美本　紙數五百餘頁携帶便　定價七拾錢　送料六錢

判任文官試驗に應ぜんとする人に〔illegible〕

評一版二版參四版第七版〔illegible〕

鮮文鮮語法律上悉く網羅唯一〔illegible〕

朝鮮熟語解釋

朝鮮古書熟字俗字慣習風俗志〔illegible〕

朝鮮〔illegible〕

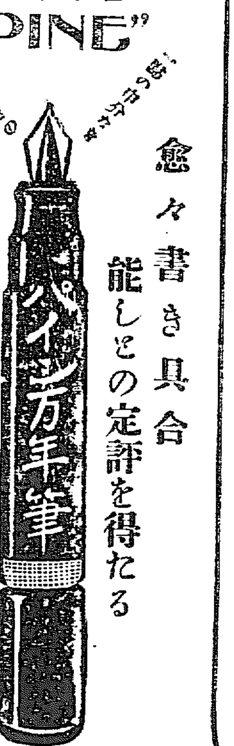
四六版裝幀清爽和裝紙質極上參百餘頁　定價五拾五錢　送料六錢

一手販賣所　京城太平通り　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

於東京化學工業博覽會
金牌受領
龍
最上醬油
釀造元　日本醬油株式會社

たんせき良藥セキドミン　拾錢　貳拾五錢　五拾錢

大日本政府登錄商標
"PINE"
愈々書き具合能しとの定評を得たる
パイン萬年筆



萬年筆の眞價はパインを除き他に知るべからず

特許既願防破裝置附
操出式萬年筆　金六圓八十錢
押出式神上向　金五圓三十錢
インキ止式入用　金四圓八十錢
インキ止式短軸　金三圓九十錢
インキ止式首向　金二圓八十錢
ピジネス（事務用）　金一圓九十五錢

〔illegible〕無料修繕

發賣元　京城太平通一丁目　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番　電話三二六、六六〇構內一八番

京城日報

第五版

二月一日朝刊 (朝夕刊併せて八頁)

事業の統一

京城日報

由來植民經營を說くもの、擧って國の産業は其連絡を全くせざる可からずして、其理想とする所は、事業の統一を見るにありと爲す。然れども其を理想なりと云ふだけにて、其を實地に見るものは、蓋し我日本帝國と、我朝鮮及び滿洲諸地に於て之を見るのみ。

顧ふに我帝國本土は、其資本制機械工業の進歩著しきものありと云ふと雖も、其原料を缺くもの甚だ多きのみならず、本土の鑛産物は、甚だ豐かならざる爲め本土に於て宏大なる事業を興すものは、必ず我朝鮮滿洲若くば支那各地と連絡を保ちて、初めて其體制を全くすることを得、乃ち事業上より之を見れば、我本土と朝鮮滿洲其他諸地とは、渾然一體にして、到底分割すべからざる者なり。

試に製鐵業に就て之を云はむか、我本土は資本及び技術家勞働者に於て缺くることなしと雖も、鑛はこれ無く、石炭亦不足勝ちなり。爲めに大規模の新たに製鐵所を設くる者は、皆我朝鮮滿洲及び支那を以て、其事業の基礎と爲さざるなく、企業者は、先づ是等各地の地質の調査を遂げ、やがて其交通運搬の方法を講じて、遺漏なきを期す、我日本は、製鐵業に於て世界の晩進者なりといふと雖も、其經營は則ち最も進歩し、最も複雜せる方法を取らざるべからず。

然れども工業經濟の原則よりするときは、製鐵業は、鑛鐵と石炭と共に存在し、且水陸運搬の集中點たる處に於て、其業を創めざるべからずして、此三條件にして其一を缺くも、猶ほ其經營上の故障なり、況や其二を缺くものに於てをや、阿弗利加内地鐵鑛に富み、カタンガーは、銅鑛豐富なりといふも、猶ほ且其業を興す能はざるは、則ち其地或は石炭を缺き、或は交通機關を缺くが爲なり、然れども天賦は人力の如何ともする能はざるも、交通機關の如きは、則ち人工を以て、之を補維し得るところなり、歐羅巴諸國民の營々として、阿弗利加鐵道經營に傾倒するは、則ち此缺點を補ふを以て、其業を興さ[illegible]

[illegible] 此半島は亦是れ[illegible]たり、グラスゴーたらんのみ。

朝鮮古蹟調査(四)

任那に對する日本の勢力

今西龍氏談

日本と任那とは最も深い關係が有る、而して上代に於ける日本の任那に對する勢力は之を四つの時期に分つ事が出來る、第一期は神功皇后の三韓征伐以前で段々日本の任那に對する勢力が強大になって來た時代、第二期は神功皇后の時代より雄略天皇に至る間で之は日本の勢力の全盛時代である、第三期は雄略天皇より欽明天皇に至る間即ち此時代は勢力が漸次衰退に向ふ時代である、第四期は欽明天皇より天智天皇に至る間で之は全く日本の勢力が無くなったので恢復せんと焦った時代である。天智天皇の時代に至って百濟は遂に亡びたが之を以て日本は半島經營に念を絶ち、其代り奥羽の拓殖に從事したのである。日本が任那を以て半島經營の根據地として以來、任那の盛衰と日本の半島に於ける勢力の盛衰の時期とは全く同じ關係に在った。そこで任那と云ふ國は如何なる國であるかといふと、只今から二千二三百年前の支那周時代は支那に於ける開化の最も盛んな時代であって、支那人は其[illegible]

[illegible]全羅道には、[illegible]九州附近には[illegible]。是等は[illegible]種族の國であった[illegible]知れぬ。所が支那に於て彼の秦の始皇帝が起り六國を統一して非常に勢力を振ひ、朝鮮半島にも秦の勢力が及ぶ樣になった。遂に始皇帝は朝鮮の北半分を其の勢力下に置く事になったのであったが、秦が亡びて其の後を繼いだのが漢である。然るに此の漢は秦と違って退守の政策を採り、又採らねばならない事情に迫られたので遂に遼東と朝鮮との間には無人の地帯が生ずるに至ったのである、[illegible]人の地帯が出來る[illegible]北方の勢力が[illegible]攻込んで居る時代には、[illegible]無人の地帯は出來ぬけれども、北方の勢力が退縮して其の脈道が絶ゆると時々無人の地帯が生ずるのである。若し斯かる際朝鮮が北に進む丈けの元氣が有ることならば斯う云ふ現象は生じないが其れが出來ぬものだから、北方の勢力が朝鮮に薄くなると遂に國境地方に無人の境が出來て終ふのである、[illegible]方の領土でも無く、又北方の領土でも無い變なものが出來る。滿洲の間島は其の一例である。近くは興つた淸朝が野人の猛氣を以て非常に朝鮮を虐めたのであるが、淸朝が支那に入った以來は彼の滿洲には空の地帯が現はれ間島杯云ふ[illegible]

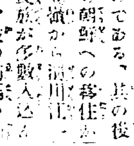
[illegible]樂浪郡時代と認められ[illegible]境中には備藩朝鮮の古墳を有する[illegible]云ふ事を念頭に置いて[illegible]れば成らぬ。平壤附近に在る古墳であるから、全部樂浪時代のものと斷定する事は出來ない。[illegible]在った地方は其の以前から支那民族が來て[illegible]支那民族の發展の中心點を[illegible]であるから、千九百年前の樂浪[illegible]主なる遺[illegible]色々な物が遺って居るのである。

京日詩壇

戊午新年　栗原華陽

今昔不殊堯舜春。喜看和樂太平民。翩躚白鶴東方曉。飄海無波松色新。

評曰、靜雅。



どうして

五十六　[illegible]

[illegible]

[illegible]拖のお醫者で[illegible]眼を開く[illegible]と捜した。私は唯今直に[illegible]お嫁は[illegible]て連れて來る心算で庇を起ちかけたが、其間もなく谷女は傍から[illegible]に其場に迦り込んで『もう御居ませんよ、若し那樣、奥樣は何處[illegible]

[illegible]それ[illegible]思ふと、瑠璃子は何處にあ[illegible]れ位私に慕はれ[illegible]から私に對して眞心を失はず家を出やうと決心して戸口に立った刹那にすらあれだけ情の籠った言葉を殘して往ったでは無いか。

[illegible]

墺國外相聲明

米大統領の提議評

二十四日墺國外交委員會に於ける外相チェルニンの演説要領は

[illegible]迄談判委員を支持するを要す(二)余は依然として無併合無償金を基礎とする談判不調と終る可との悲觀說は誤りなり[illegible]政府新認[illegible]

加索等多數なる事其二ケ本日接手せる電報に依ればカルコフのウクライナ政府はキエフの政府を承認せずして別に委員を出し露國委[illegible]の自己處分權に關する獨露兩委員の見解の不一致を指摘し且つ露國との平和成立すれば一般平和を速[illegible]からず[illegible]

[illegible]を防禦する爲[illegible]可く、第二墺國は内政干渉を拒絶す、秘密外交廢止は實行上極めて困難の場合ある可きも秘密條約廢[illegible]す此點に關し聯合側の條件を明かにする樣ウイルソンの盡力を望む(五)終りに曰く、ウクライナとの談判は主として經濟問題に關す[illegible]る波蘭に關するウイルソンの主張[illegible]帝國主義あらざる[illegible]信任するならば余を援助せよ、然らざれば余を退けよ中間の途は存在せざるなり(東京)

中外新論 第二卷 第二號

△良家貴女耶花柳賤妓耶 △戰局推移と講和の氣運
軍備と眞義
超越的國家主義
食物問題と政治
物價調節と市場
[illegible]英國の指導者
獨逸は革命か
中外雜俎
冬枯し
八夜
天滿佳
世相人事
△山本權兵衛 △運び[illegible] △代用水苔 △朝鮮の馬 △郵便珍奇二輪車
[illegible]

女子の眞實力
二月の衛生
國民理想の向上
日鮮同族の考證と實蹟
心中淨瑠璃
南洋[illegible]孤客
春日局史實
英和對譯

二月號
學生
耐寒衛生號
試驗は近づけり
青山健康法
冬期運動法
ウ[illegible]代の活動
軍國青年の活動
朝鮮の猛虎狩
寒強健法
射稽古
東京 富山房

二月號
婦人畫報
長篇小說 須磨子 菊池幽芳
◎殘雪
◎眼の前の教訓
◎内縁の夫
◎乳の出ない婦人
◎子供を亡つた悲しみ
東京京橋區[illegible] 東京社

採鑛冶金學
講習錄
會員募集
本邦唯一の講習錄
會長 横堀治三郎
科目 採鑛學 鑛業法規 冶金學 選鑛學 地質學 石油 石炭 分析試金 [illegible]

鑛山用押上ポンプ
押上五十尺以上保證
鑛山機械 八角鋼
京城南大門通五 電話一〇四番 二五六番
京城旭町
中根商會 販賣部 製作工場

第四十回帝國議會

衆議院（三十日）（東京特電）

▲豫算總會

豫算總會は三十日午後三時二十分秘密會を閉ぢて公開、中村啓次郎氏（政友）と岡田文相との間に外國語學校改稱問題、橋本喜造氏（憲政）と加藤海相、大島陸相、仲小路農相等との間に……

（日本郵船其の他に對する航路補助……の事に就て小林源造氏（政友）と……原外務次官との間に……航行問題滿蒙鐵道大借款等に就き……松花江……）

御諒言上

[illegible]

◎駐露日本大使の聲明

艦の浦鹽入港は別に心配を要せず日本は內政干渉を爲す事無き旨發表し……となれり（哈爾賓電報）

◎英勞働大會決議

ノツチンガムに開き左の決議を爲せり

一、聯合國共同の戰爭目的の宣言を爲す事

二、聯合國勞働黨及び社會黨の同意を得て國際勞働平和會議を瑞西に開くこと

◎西部決戰期切迫

攻勢準備進捗し決戰期切迫しつゝあり（倫敦電報）

◎王總理辭職理由

……純氏等と意思疏通の結果南方討伐を斷行するに決したるより從來妥協主義なりし總理王士珍の辭職を見田文烈氏總理代理に任ぜられたるなり（北京特電）

◎聯邦政治を行へ

……局意見を李寿龍氏に打電せり（北京特電）

支那は長年月地方主義に傾き居れば中央集權を行はんとするは困難なり其れよりは地方分權の聯邦政治に改め各省より代表者を出し聯邦會議を制定し聯邦憲法を發布し之れに依りて聯邦議會を召集するを良策とす

◎王軍宜昌に肉迫

王占元氏は……部下の一部を同地に派遣せり（北京電報）

◎敗兵武昌に遁走

荊州に於ける北軍の敗兵は武昌に向け遁走せり（北京電報）

◎倪嗣文北京行

倪嗣冲氏の代表者として來奉中なりし倪嗣文氏は督軍府秘書と共に廿九日北京へ向へり（奉天特電）

◎軍司令官著馬

軍司令官は三十日鐵嶺重砲兵隊……の教育視察の爲め來馬せり（馬山特電）

◎目賀田男消息

目賀田男一行は……歸朝の途にある……二十九日ホノルヽ出帆の筈（……）

◎美濃部總裁動靜

美濃部鮮銀總裁は引き續き三十日正午支那側官民の有志者と取引先百四十名を城內支那旅亭に招待し盛宴……

◎大連の移出米多數

[illegible]

◎墓地規則一部改正に就て

三十日官報を以て公布されし如く墓地規則の一部改正せられ……墓地を認許する事となれり……

▲大正元年の……

◎朝郵專務增員

松崎課長……

◎勝つて後妥協か

……大總統の方針は……中央側に有利ならしめ其の上にて妥協の議を開かんとする意圖……大總統に……

◎宇治水電社債

五百萬圓募集

◎張督軍招待

……十八日臨時總會に……奉天督軍張作霖氏は……日本官民有志を招待し盛宴を張れり……鮮銀の滿洲に於ける發展を祝し今後自ら一層鮮銀の爲めに盡力す……

▲總裁今後の旅程

[illegible]

◎聯合軍事會議

各首相外交官……重大問題……聯合國軍事會議……ベルサイユ……

◎露貨換算率

[illegible]

◎日支聯絡運賃增徵

[illegible]

◎光州短信

▲法院……

◎新棉買付現況

……輸出額は……萬俵……

文章世界　二月號　博文館

恩給年金　月利……　湊屋商店

御用達　製繩機　貸附特約店　浪速商會

サンソー液　……本店

問題の怪寫眞京城に現る　大冒險大活劇　鐵の爪　大正館

新派悲劇　夕刊賣　舊劇　三莊太夫

カスミ網　古備商會

保險金受領廣告　一金五百圓也　日清生命保險株式會社　八畝田ブン

生徒募集　京城中學校

株式會社第一銀行　第四十二期營業報告　[illegible]

大正七年二月一日　（金曜日）　京城日報　第三千七百二十三號　（三）

我飛行界の進歩發達は

國民の援助に俟たねばならぬ

現今日本に於ける飛行界が極めて幼稚且つ貧弱な地位に在る事は誰しも首肯し得る所であつて之れを西歐諸國のそれに比較する時は其たるもの實に心細い次第である元來飛行機が軍事上

▲重要な地位 に在る事は國防上極めて重要な武器である事は現時歐洲戰亂の實證によつて餘りある所である日本でも飛行機の研究と言ふ事に就いては他國と比較して時機に於て遅れを取つた[illegible]ではない、明治四十二年[illegible]が[illegible]飛行機を發明してから[illegible]

▲五十八哩を 驅る[illegible]つた際は既に日本でも軍事上重要な武器となるべき事を豫測して[illegible]六十萬圓を飛行機研究費として支出し現在の[illegible]長岡將軍に依嘱する處があつたそれ以來田中館博士其他の人々[illegible]が研究の歩を進め政府でも[illegible]調査に著手したが其後四年を経て大正元年に獨立して[illegible]豫算に飛行機に關する[illegible]千五百萬圓を計上し

▲飛行機數が [illegible]出來[illegible]造る様に成つて居たのである[illegible]ては初めて六十萬圓の經費を計上した[illegible]に拘はらず段々と三十萬圓に減額され飛行機數が僅かに三十臺[illegible]の二千五百萬圓の經費と一千三百臺の飛行機數に比べては御話にもならない日本が研究時期に於て左程後れを取らなかつたに拘はらず

▲斯くの如き 状態に至る[illegible]のは單に政府の罪ばかりでない國民の意慢に負ふ所も尠くない[illegible]ればならぬ獨逸の如きは政府[illegible]ならず官民共に努力に努力を重ね戰爭以前已に飛行[illegible]に關する講座十數個所專門大學[illegible]作所十三ヶ所の多數に達し飛行研究所が四十六を算した殊に獨逸の

▲中流階級 は飛行協會に入會し同會の徽章を附けて居らねば集會の席に顏出しが出來ぬと云ふ位國民全體が熱中してゐるから開戰以來其の進歩發達は驚くべき想像以上であらう之れに反して我國の飛行界と云へば民間に於ては唯だ一つ、昨秋當地に諸演を試みた[illegible]の帝國飛行協會[illegible]ある計りで東京の富豪數名が

▲僅かの基金 を集めて帝[illegible]

温室に咲き亂れた草花

[illegible]

東京大阪間 大飛行

帝國飛行協會[illegible]

大地震 觀測

三十一日午前六時[illegible]觀測所の[illegible]に記錄せる[illegible]大地震[illegible]の觀測によれば震源地は仁川より北方[illegible]の地點にして[illegible]州北部なる[illegible]陸地方の海中に發震せるものの如し（仁川觀測所）

我が鑛山探險家 土民と格闘 一名死亡す

慶州を去る百三十支里の八家子に於て二十六日鑛山探險家瀬尾安太郎、廣瀬繁正、篠川兵治の三名は土民五十餘名より襲撃を受け格闘の後ち廣瀬は全身數箇所の打撲傷を負ひて死亡し瀬尾、篠田の兩名は辛くも虎口を逃れ來り急を告げたる爲め憲兵分遣所は大活動を開始せり（奉天特電）

降つても小雪 本日の高氣壓

[illegible]

學校めぐり

醫學專門學校

東洋に有數の我總督府醫院の構內に[illegible]

◇朝鮮總督府醫學[illegible]

京城醫學專門學校[illegible]一新した現在の學生總數二百四[illegible]

自家に闖入 強盜を働く

[illegible]

京城神社の節分祭

[illegible]

▽例年より寒い

[illegible]

用捕指の 騷ぎ[illegible]

[illegible]

紙幣僞造二種

[illegible]

放火家を燒く

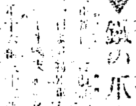
[illegible]

◇女學校

[illegible]

物價騰貴と 生活難

[illegible]



▽鐵の爪

[illegible]

埃及棉輸入樂觀

[illegible]

▲輸入棉花總額 [illegible]

▲六年一月十日迄 [illegible]

市會議員拘引

[illegible]

上中流紳士の御愛用には

好評なる敷島に限る

お慰さみの爲めに!!

敷島より各種郵便切手が

添付れるゝ御使用の際に

御注意を願ひ上げます

東亞煙草株式會社

二月一日より 大提供大寫眞

東京駒形劇場俳優 中野近信出演

新派悲劇 紫日記

プロテア

不動の[illegible]

黄金館

內科 小兒科 村上病院

京城永樂町一丁目

院長 村上龍藏

中村眼鏡店

櫻御殿

第百卅八回　大阪霞の家主人

二人士(十六)

『その若い男と女は、夫婦者らしく見られたが』

利右衛門は膳の上で一杯傾けながら訊いた。すると給仕に出て居た女中が、黒塗の丸盆を膝の上に立てながら

『いゝえ、夫が不思議なのでございます。わたしも番頭さんも、きつと御夫婦だらうと思ひますが、御一所にお床海を取りますと、お女中様が大さう御立腹で、(…)しながら、それ(…)匆々別室へ敷き替させて御(…)

なるのが普通でございますのにその客様は反對にお女中からお入り遊ばしたのでございます。それがあなた(…)ございません。お女中さまは、まつ(…)方からと被仰いますし、殿方は(…)少し理由があるから、お(…)被仰います。その(…)

ございます』

『すると夫婦ではないと見ゆる』

助左衛門は目を瞠んだ。利右衛門はや、安心の胸を撫でた

『處が、その晩は一ぱいのお客様で、何處にも空室がございませんから、理由を云つてお斷り致しましたら、夫では仕方がない、床御の間を衝立で仕切れと被仰います。お伴侶様ならそんなに遊ばさずとも宜かりさうなものをと存じながら仰せの通りお屏風で仕切りを致しました。處がその晩の事でございます』

給仕女はこゝまで語り續けて(…)しさうに口許をかくした

『何うした／＼、それから何うした』と利右衛門は問ひ進む

『お湯へお入り遊ばす時でございますよ、大概の者はまづ殿方、それからお女中、續いてお供の衆と(…)

『それで無いと草臥が休まらないと被仰つて、遅く湯殿へ行らつしやいました。可笑しいのは夫からでございます。お供の方は少し御酒を喫りますので、お湯が終むと、じきお寝みになりました、そこでお女中様が、お脊中を流しに行らしつたのでございませう、お手拭を提げて、お湯殿の戸を少しばかりお開けになりますか爲りませんかに、其處を開けるのは誰方ぢや、と大聲でお叱りになりました。此れまで随分大きな聲を聞きましたが、その時ほど恐しい高聲を聞いたことはございませんから、吃驚して駈け付けますと、お女中は着物の脱場に平伏して在らつしやいます。湯殿からは殿方が御手ずから戸を閉めて在らしつて、斷りも無く、風呂場の戸を開けるといふ

法があるか、左様な不作法な女(…)は存せぬ、これまで御同道申(…)今夜限り斷り申す、何れへなりとも(…)こそお立退き召されい、と火のや(…)うになつてお叱りになつて居ます(…)何時の間にか、あなた方(…)殿の戸を開けたからと云つて、そんなに怒る者がございませう。わたくしは可笑しいやらお不憫さうなやら、それも悪氣があつて爲されたのではなく、眞の御心切からなすつたことでございますのに、あまり御(…)しみ／＼(…)御詫を致しました。處が(…)お怒りが(…)風呂場へは(…)ます。それでお女中様に(…)をお呼せ申して、やつと仲裁を致しましたのでございます、いやもう(…)なお客様で、(…)の方が見たやうなのは(…)ございます』と腹を抱へるやうに語つた

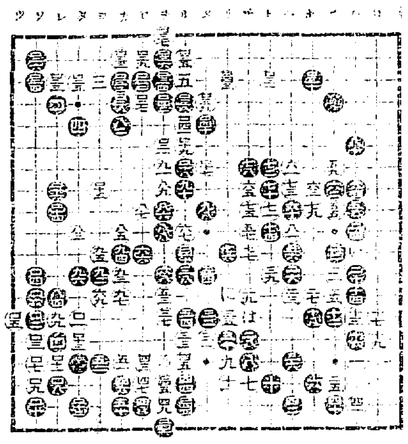
助左衛門の胸の底に、此の時(…)思ひ當る事があつた

鷄林同人會第十九回詠草

碁戰

十番碁 第四局(完)

[illegible] 田中[illegible]氏　三子　大久保雅彦氏



講評

△黒二十二は單にいに伸ぶ可し二十三と逃げ出さるゝと同時に六以下の黒に反響を及ぼす二十に至りたるさへあるに二十四と掛粘ぎて從手を曳くに到りては其損失大なり△黒二十八に伸びて白をして五十六に備へしめたる時三十に曲るか或はろ邊に迫りて白の三十に伸ひたる拍子にははに出すが手順なり△黒三十四は無理なり白より三十五と截斷されて左右の連絡を絶たれ三十六と手を更して活を求むるの已むなきに至りたる其損失亦少ならず△黒六十二は七十に尖み出る方働きあり△白六十七はにに下りて断ち切りて黒をして一子を補はしめたる後にする方白の範囲廣まりて面白味あり△白八十五惡し先づ九十九につけて應手を試む可し中央の黒區を瞰視して餘りに短兵急に迫堅せしため却つて長蛇を逸するに至れり△白九十三亦悪し九十六に打ちて下方兩の發展に力を用ひなば其變化何れにしても有望の碁となる可きに强硬の一方に偏して悪手續出終に白の敗に歸したるは兵家の深く戒む可き所なり

大阪株式寄電

三十一日前場　後場

大阪商船　一九五、二〇

日本郵船　三五二、五〇

同新株　三三六、六〇

左の如し

(一)露國の希望を容れ平和談判を公開したる以上は(…)て神經過(…)

(二)(…)分を發し又は全政府變更の場合に事態を動かす事ある可きのみ

(三)談判の二大困難は相手が露都(…)員と共同談判に當るべき旨露國委員長より申し出でたる趣なり又波蘭委員の參加には露國委員反對(…)

(四)ウイルソン提議中獨墺側と一致する幾多の重要點あるは喜ぶ可(…)止には全然贊成す、海の自由、經(…)戰廢止、軍備解除皆同意なれども敵が勝利獲得を頑固に主張す(…)張は協議するを得べし各國民の(…)織には墺國は反對せざる可し要するに米國と墺國間の主張の(…)り餘り急げに何等の利益をも收むる能はざる可し、同盟罷工等の妄動は(…)余は國家の爲めに

公示催告　大正六年甲第二八五號

京城地方法院

東日案內

女子事務員入用

教授

オキシヘーラ

鑛物各種分析　松永分析所

朝鮮語科　英語科

○ほねつぎ　一切の治療御依頼に應す　明治町　柔術道場

賛化病院　内科　小兒科　入院隨意　無料施療す　醫學博士 古城憲治　上野亮藏

大阪醫(…)

最新刊

新舊對照　朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽

りん病　ばい毒

花柳病專門藥房　京城南大門外停車場通り　ドラッグ商會　朝鮮總本部　長電話二五六七番　振替口座京城四六七番

尼崎汽船出帆

大阪商船會社　汽船出帆

釜山出帆

朝鮮郵船